高小コミスクだより

No.8　令和3年1月
かほく市立高松小学校
校長　笹山明夫
学校コーディネーター
澤野直美

　昨年は新型コロナウイルスの影響の中、感染予防対策をしながら活動を行ってきました。今年も引き続き、3密を回避し、体調管理に気を付けつつ進めていきたいと思います。

　3学期が始まり、子ども達は寒さに負けず、新たな気持ちで学校生活に取り組んでいます。

書き初め大会に向けて

　12月9日（水）から16日（水）にかけて全学年が書き初めの練習をしました。城村政子さんと竹中絹子さんが姿勢、筆や鉛筆の持ち方、文字のバランスの取り方等を教えてくださり、お手本を書いてくださいました。子ども達は真剣に用紙に向かい、書くことが出来ました。最後に「名前を書くところまでが作品なので、ゆっくり丁寧に書くことが大切です。本番もがんばってください。」と励ましのお言葉をいただきました。

ほくぎん出前授業

　12月4日（金）、5年生が北陸銀行かほく支店の杉林さんと松田さんからお金について学びました。電子マネーはどういった仕組みなのか教えていただき、お金の貸し借りはなぜしてはいけないか等をみんなで考えました。その後、おこづかい記録ゲームをすることで、計画的に使うことの大切さを理解することができました。

お箏教室

12月8日(火)、5，6年生がお箏教室をされている川守雅楽伎(かわもりうたぎ)さんにお箏を教えていただきました。お箏教室が初めての5年生は、まず手の形や弾き方を習い、その後、「さくら」を「七・七・八―」(音階)と歌いながら弾きました。お箏教室が2回目となる6年生は、昨年習ったことを思い出して「さくら」を弾きました。そして「もみじ」「ジングルベル」「アメイジング・グレイス」の中から自分の弾きたい曲を練習し、上手に弾くことが出来ました。箏の音階を調整する白い三角形を「箏柱(ことじ)」と言います。兼六園のシンボル、ことじ灯籠は、形が似ていることからその名が付いたそうです。観光に来た方に教えてあげたくなりますね。

心と体のリラックス

12月3日(木)、5年生が保健体育の授業で、本校スクールカウンセラーの宇根本先生に、心と体の密接な結びつきについて教えていただきました。心のリラックスには体のリラックスが関係しています。体をリラックスさせるために、みんなで「正しい呼吸の仕方」と「肩に力を入れて抜く」をやってみると、心もすっきりしました。また、緊張している場面で自分の実力を発揮するには、チャレンジ、リラックス、プラスメッセージ、気持ちの切り替えの4つが大切であることを学びました。

やまんばさんのお話会

12月22日(火)、1年生が国語の授業で、お話会のボランティアサークルやまんばさんから世界各国の絵本を紹介していただきました。子ども達はどこの国の絵本かを当てることで、盛り上がりました。その後「三匹のこぶた」のお話が始まると、子ども達は静かに絵本の世界に入っていました。

あさごはん

12月24日(木)、6年生が本校の栄養教諭の伊藤先生に、朝ごはんについて教えていただきました。食欲の出ない時の工夫や手軽に栄養バランスの良い食事を用意するコツを学びました。そして、理想の朝ごはんに近づくよう、それぞれに目標を決めて冬休みに各家庭で挑戦しました。